

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 東邦高等学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 465-8516

名古屋市名東区平和が丘3丁目11番地

E-mail t-mail@toho-h.ed.jp

Website <http://www.toho-h.ed.jp/>

幼児児童生徒数 男子 731 名 女子 947 名 合計 1678 名

幼児・児童・生徒の年齢 歳 ~ 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

東邦高等学校は真に信頼して事を任せうる人格の育成を見学の理念として掲げ、「まじめ」を校訓とする学校である。2014年のユネスコスクール加盟と同時に世界遺産を通して考える地球の未来をテーマに世界遺産学習を開始し、国際交流教育を積極的に推進することとしました。

割り当てられた世界遺産1件についてグループでリサーチし、環境汚染、戦争、観光地化など世界遺産が抱える多様な問題について学びます。そして、解決策とアクションプランを考えることを目標としています。英語力の育成と同時に組み立てられ、1年生全クラスの英語の時間を利用して英語による世界遺産プレゼンテーションを行っています。

学校全体の取り組みとして、日本ユネスコ協会連盟の第1回プロジェクト未来遺産の中にある「葵プロジェクト」に参加しています。京都三大祭りの中でも最も歴史の長い葵祭で使われる「フタバアオイ」は環境の変化やシカによる食害の影響でその数を年々減らしています。「葵プロジェクト」は、京都上賀茂

神社に自生するフタバアオイを株分けしていただき、学校で育て、数を増やして上賀茂神社に返し、数年後には葵祭で使ってもらい取り組みです。この葵プロジェクトは世界遺産としての葵祭を次世代につないでいく取り組みというだけでなく、上賀茂神社に葵の森を再生することを通じた環境保全の取り組みでもあります。



国際交流の観点では、ドイツにあるザルツマンシューレという学校が本校とつながりを持つことができました。この学校は語学教育を中心に行うドイツの中では数少ない学校の一つですが、ユネスコスクールにも加盟している学校ということもあり、今後ユネスコスクールとして新たな取り組みにチャレンジすることができる可能性があります。現在は生徒同士の手紙交流から始まっていますが、今後はユネスコスクールとしての取り組みを考えます。また、本校が提携する姉妹校が集まって行う4か国5校姉妹校交流会は、2018年度4月に2週間の予定で行われますが、Sustainabilityをテーマに交流を行います。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	

8. その他(自由記入)

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 生徒会活動)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

<http://www.unesco.or.jp/>

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

内容によって異なりますが、世界遺産学習は、英語の授業の中に位置づけています。世界遺産としての価値、直面する課題、解決策などをプレゼンの中で語らせることをフレームとしています。
葵プロジェクトは、生徒会活動、主にはユネスコ委員会の活動に位置づけ、アオイの水やりなどの世話を続けて2年が経過しました。国際交流活動については、生徒たちの自主的な取り組みとしての位置づけが大きく、希望者を中心に行っています。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

現状ではここが大変大きな問題となっています。英語科やそのほかの担当者のところだけで進められているとことがあり、世界の平和の実現のための切り口としての ESD 活動を様々な教科や立場から推進することができるはずですが、しかしながら、学校全体の共通認識にできていないという実態がありまして、手を付けられないままになってしまったことを反省しています。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ユネスコスクールとしての取り組みを評価としては現状含めていません。英語の授業の得点に一部分参入しているが、主には自主的な取り組みの位置づけとして行っているので、評価をつけてはいない。しかしながら、今後ポートフォリオが必要となるので、ルーブリックなどの評価導入を検討する

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

葵プロジェクトの取り組みを新聞報道していただいたところ、地域の方から葵プロジェクトに参加したい旨の連絡をいただいたり、自分の家にあるフタバアオイをぜひ上賀茂神社にお送りしたいという内容のご連絡をいくつかいただいた。フタバアオイの輪を広げていくことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

今年度については特に外部との連携はありませんでした。葵プロジェクトは日本ユネスコ協会連盟、NPO 法人葵プロジェクトとの連携を引き続き行いました。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

ドイツのザルツマンシューレという学校との交流が始まりました。現在は手紙交流にとどまっていますが、いわゆる国際交流だけでなく、環境などの観点からユネスコスクールとしての取り組みを今後開始していきたいと思えます。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

調べ学習であったり、自主的な取り組みであったりするので、基本的には生徒たちの満足度は高いです。授業を楽しく前向きにうけることができている。教員側は、むしろ準備の過負担など、大変という気持ちを持つ者もあります。基本的には生徒たちは社会のためになっているという意識を持って活動していると思われれます。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

葵プロジェクト…2年育てた葵を上賀茂神社に戻し、植え替える。引き続き育てて葵祭で使っていただく。

ドイツザルツマンシューレ(ユネスコスクール)との交流…環境などのテーマでともに取り組めることを協議する。

世界遺産学習の深化…アクションプランを具体化させ、実施に結びつける